

2012年10月18日

記者各位

### 当社のSOFC型家庭用燃料電池「エネファーム(Type S)」が 2012年「日経地球環境技術賞」を受賞

当社(社長:一色 誠一)が製造・販売するSOFC<sup>※1</sup>型家庭用燃料電池「エネファーム(Type S)」(以下「SOFC型エネファーム」)が、日本経済新聞社が主催する2012年「日経地球環境技術賞」で「優秀賞」に選出されましたので、お知らせいたします。

「日経地球環境技術賞」は、地球環境問題に関する調査、研究、技術開発、ならびにもものづくりについて実践的な取り組みの独自性、実現性などを総合判断し、優れた成果を表彰する制度です。

「SOFC型エネファーム」は、LPガス・都市ガスから取り出した水素と空気中の酸素を化学反応させて発電し、この時に発生する熱でお湯もつくる高効率の家庭用コージェネレーションシステムです。定格発電効率45%を実現し、電力需要に合わせて24時間連続運転を行うことにより、一般家庭で使用される電力の約7割をカバーすることが可能です。

当社は、「SOFC型エネファーム」を軸に太陽光発電などと組み合わせた新エネルギーシステムのご提供を行うとともに、お客様のご家庭のエネルギーの最適化をご提案するENEOSエネルギー診断サービス「Dr. おうちのエネルギー」を展開するなど、「省エネ」「再エネ」「自立」をキーワードとする「ENEOS創エネ事業」を推進することで、自立・分散型エネルギー社会の実現に貢献してまいります。

なお表彰式は11月7日(水)、日本経済新聞社 カンファレンスルームで行なわれる予定です。

※1 固体酸化物形燃料電池(Solid Oxide Fuel Cell):電解質にセラミックを用い、各種燃料電池のなかでも発電効率が最も高い。セルに貴金属が不要なことも特徴。

#### <日経地球環境技術賞概要>

主 催:日本経済新聞社

審査委員長:茅 陽一(地球環境産業技術研究機構理事長)

- 評価基準:(1)地球環境保全への貢献度  
(2)研究・技術の独自性  
(3)技術の実現性、普及の可能性  
(4)産業界への技術革新の貢献度  
(5)社会へのインパクト

<SOFC型家庭用燃料電池「エネファーム(Type S)」の概要>

1. 販売開始日 2011年10月17日
2. 販売機種 LPガス仕様、都市ガス仕様
3. 希望小売価格 270万円(消費税込み、工事費別)
4. 保証期間 10年間
5. 販売エリア 北海道・沖縄県を除く地域  
(但し、気温・標高・沿岸からの距離など、条件により  
設置できないエリアがあります)
6. 製品仕様



		SOFC型家庭用燃料電池 エネファーム(Type S) LPガス、都市ガス仕様共通
定格出力		700W
定格発電効率		45%(LHV <sup>※2</sup> )
定格熱回収効率		42%(LHV <sup>※2</sup> )
寸法	発電ユニット	H900mm×W563mm×D302mm
	貯湯ユニット [貯湯量]	H1,760mm×W740mm×D310mm [90L]

※2 LHV (Lower Heating Value) : 低位発熱量。燃料ガスを完全に燃焼したときの発熱量から水蒸気の凝縮潜熱を差し引いた値

お問い合わせ先：エネファーム専用ダイヤル 0120-56-8704  
営業時間 9:00~17:00 (土・日・祝日も営業)

商品ご紹介サイト：<http://www.noe.jx-group.co.jp/lande/product/fuelcell/index.html>

以上